

赤塚家土蔵焼跡

赤塚屋（醸造業）は、宿場町の商家の姿影を残す貴重な町屋である。

蔵戸には、鶴と亀の縁起（作者不明）が残されている。



眞福寺

境内には、青銅金剛の石像を納めた奥中堂がある。石材は庄田の金屋石で、舟形光背の上部に日と月を刻み、雙を並立てた怒りの顔と六手に剣・鈴・弓・矢・宝輪・金剛杵を握る立像を浮き彫りにしている。



柳倉家土蔵焼跡

柳倉家の土蔵の遺跡には、龍の縁起が残されている。また、直には松竹梅の木がある。



西土寺

加賀藩の五代、七代、八代藩主の位牌がある。元、位牌堂入口にあった門は、加賀藩の御用石（赤石）が使われている。また堂縁は江戸時代の初期貞享4年(1687)に金沢の名工宮崎宗九郎様一の作である。



開智社跡

明治6年、増田佐七がこの地の自宅に「開智社」を開き、県内各地で書籍、雑誌、新聞を始めた。その後、雑誌雑誌「福藝社版」を創刊し北陸一体等で販売された。



郡奉行所跡

福富郡と射水郡がこの郡奉行所で治められていた。御寶庫（脱宅）が東西に建てられ、奉行に直属する足軽長屋と半屋がたてられていた。



蓮王寺

萬野山眞實宗に属する古刹で、木造では北陸一を誇る大仏様がある。また鎌倉時代の銅像地蔵菩薩立像と江戸時代初期の蓮戸侯の香炉とともに富山県指定文化財である。



十社大神

十社大明神、伊勢宿神明社等三ヶ地域の14社が、昭和2年に合祀され十社大神となった。白と黒の木造神馬や室町時代の木造狛犬、龍宮が保存されており、総馬堂には11枚の縁起の絵馬が奉納されている。



旧小杉郵便局



大正13年に当時小杉郵便局長であった須藤利作が自宅に新火構造の建屋として建てたものである。



**旧北陸道in小杉
ガイドマップ**

藤井志門前



藤井志門は1720年に小杉町に生まれた。幕王将を探究し、王政復古、大政奉還実現のための闘いを送り、運動に身を投じた勤皇の高士である。

久証寺



このお寺は、大手峠にあったものが、小杉新町ができ現在地に移ったものである。老田家から譲られた茶室「知楽庵（しよげあん）」もある。

加賀藩高札場



幕府や加賀藩の禁制や運しを知らせるため、町の辻角など交通の中心地に掲示した板札のこと。

竹内源造記念館



国登録有形文化財 昭和8年に旧小杉町役場として建てられた。平成14年に歴戦の名工竹内源造記念館として開館し、平成26年にリニューアルオープンした。玄関をくぐる竹内源造の最高傑作である「名越の双龍」が迫力いっぱい迎えてくれる。

小杉展示館



国登録有形文化財 明治33年に旧小杉貯金銀行として営業を開始し、後に北陸銀行小杉支店として昭和54年まで営業していた。黒漆喰の土蔵造りで国の登録有形文化財であり、館内には、小杉儀が常設展示されている。

片口安太郎墓



片口安太郎は、明治5年に生まれ、町長、県議員を勤め、また小杉貯金銀行の創立に参画するなど地域社会の発展に貢献した。

金船寺と秋葉堂



眞實宗源満山金船寺は、観音信仰の第十五番札所である。秋葉堂には火屋除けのご神体「秋葉大権現」が祀られている。